

VisSQ SU202

有線LAN地震計[センサ部]



建物の地震観測に最適なコストと性能を有する加速度センサ

SU202は低ノイズ型MEMS加速度センサを内蔵し、記録部LU301（別売）と組み合わせて計測地震防災システム「VisSQ」を構築します。低周波数領域の出力特性が安定しているため積分結果のばらつきが少なく、変位に基づく層間変形角などの評価に優れた性能を発揮します。従来機との互換性を有しており、建物以外の地震観測にも低コストで高精度なシステムを提供します。

特長

▶ LANケーブル1本で電源も供給

PoE*の受電機能により、LANケーブル1本でデータ授受と電源の供給が可能です。電源工事不要なため、設置作業もスムーズです。

▶ 安定した積分変位を出力する低周波数領域特性

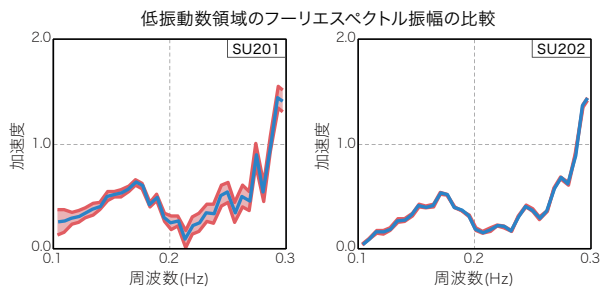
層間変形角の評価に影響を与える低周波数領域の出力特性について、実地震記録を用いた実験により、サーボ型のSU501に匹敵する安定性を有することを確認しています。

▶ 複数センサ間で時刻同期した計測

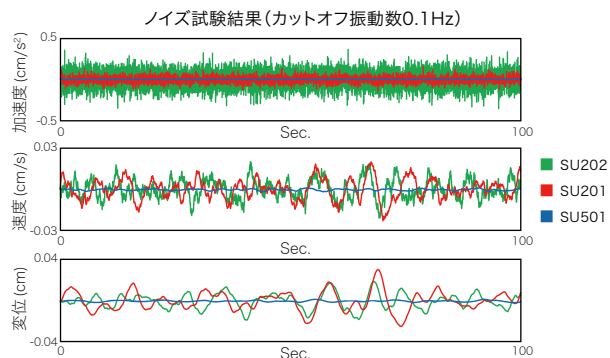
記録部を介して、複数のセンサ部が時刻同期するため、建物の時々刻々の地震時挙動を高い精度でトレース可能です。

▶ 低ノイズ型MEMS加速度センサを採用

除振台で計測した加速度ノイズは約0.3Galで、従来機をやや上回りますが、速度・変位は同等です。強震観測用途として十分な性能を有しています。



低振動数領域のフーリエスペクトル振幅の比較
2004年中越地震の小千谷の記録を用いた20台の同時加振実験結果について、平均値を青線、±σを赤の網掛け領域で表す。



* PoE (Power over Ethernet) は、Ethernetの配線ケーブル（カテゴリ5以上のツイストペアケーブル）を利用して電力を供給する技術（IEEE802.3af規格）

▼主な仕様

センサ部 SU202		
センサ	MEMS型加速度センサ	
周波数範囲	DC~50Hz	
チャンネル数	3チャンネル(水平2成分、鉛直1成分)	
A/Dコンバータ	デルタシグマ型 24ビットA/Dコンバータ	
測定レンジ	±2.0G	
測定インターバル	10msec	
分解能	0.01Gal (水平/鉛直)	
通信プロトコル	HTTP・NTPクライアント	
通信インターフェイス	100BASE-TX × 2 適合コネクタ:RJ45コネクタ 適合ケーブル:Ethernet UTPカテゴリ5以上の8芯ケーブル(最大100m)	
電源	PoE給電対応スイッチによる電源供給 (IEEE802.3af Power over Ethernet規格の給電側に準拠するもの)	
消費電力	2.6W	
動作環境	温度	-10~+50°C
	湿度	20~80%Rh(結露しないこと)
寸法・重量	140×140×58mm・約650g	
防水性	なし	
価格	オープン	

※ 推奨PoE HUB:NETGEAR社製JGS516PE

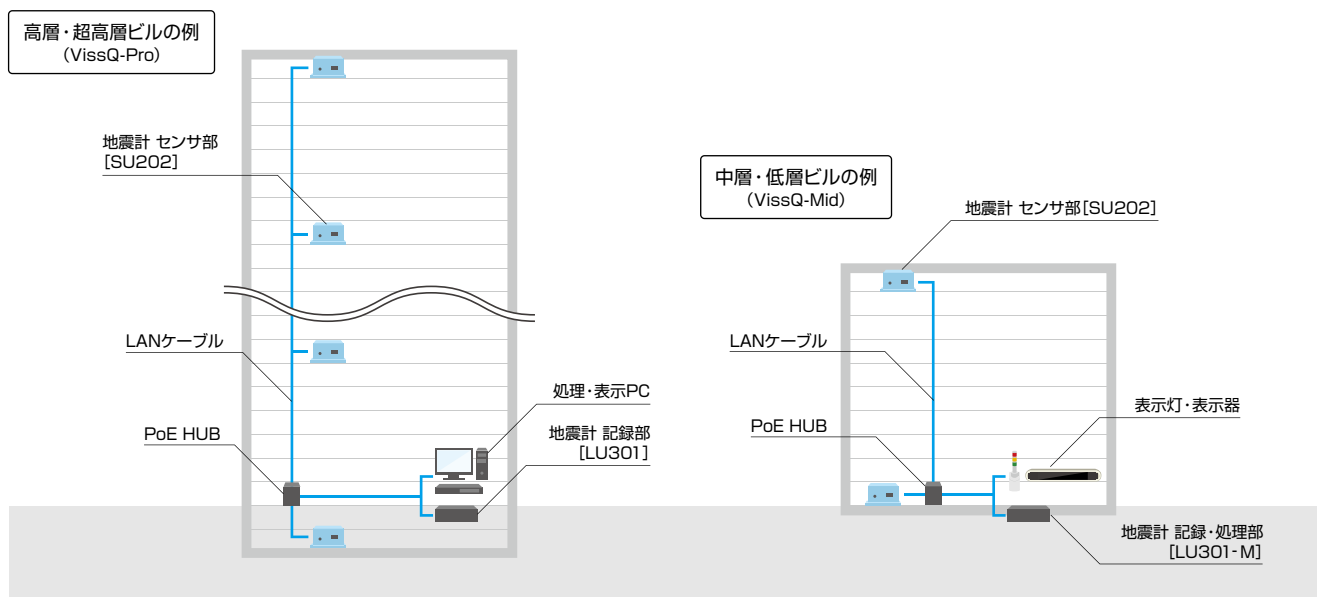
※ 計測に絶対時刻の精度が必要な場合には、別途NTPサーバが必要です。

※ SU202は有線LAN地震計のセンサ部です。システム構築には記録部が必要になります。

▼標準付属品

CD-R (ユーザーズマニュアル)、保証書

▼システム構成例 ※図は概要を示すため、省略して描かれています。



ご不明点・ご質問は担当営業またはサポートにお問い合わせください。

注)本機を正しくより安全にご使用いただくため、ご使用の際には必ず「取扱説明書」または注意書きをよくお読みください。

※ VissQは白山工業株式会社の登録商標です。NETGEARは米国およびその他の国における NETGEAR, Inc.の商標です。その他の商標、登録商標は各所有者に帰属します。

※ このカタログに記載された仕様・デザインは予告なしに変更することがあります。

※ このカタログの記載内容は2022年12月12日現在のものです。

白山工業株式会社

〒183-0023 東京都府中市宮町1-40 KDX府中ビル8F

TEL. 042-333-0080 FAX. 042-333-0096

URL: <https://www.hakusan.co.jp/>

E-mail: support@hakusan.co.jp

■お問い合わせは…